

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

KECA ニュース =No.63=

【巻頭言】

パリ協定+SDGsを見据えた

新しい環境活動の立上げとプロモーション活動の強化

～会員の総力を結集する広報活動を目指して～

理事長 河野健三

はじめに

(1) パリ協定とSDGsは共に2015年に採択されました。3年を迎えようとしている今日、2015年が時代の転換点になるのではないかとの論調が増えています。

7月12日に神奈川県環境科学センターで開催された(一財)持続性推進機構安井至理事長の講演会を聴講しました。

演題は「大転換時代に対処する基本的なスタンス」～パリ協定+SDGs等への的確な対応～です。



(2) レジュメの最後のスライドにある結論は次の通りです。

- ・今世紀とは、300年以上続いた「化石燃料」から離脱し、新しい「人類文明」を作る期間。
- ・それを実現するキーワードは、「我々は変わる」。
- ・「どのようにして変わるか」、それは、「地球の状況全体の、しかも、2050年～2080年の状況を予測しつつ、考える」、ことしか方法はない。
- ・日本人は一般に、未来を読むことが苦手。自分を変えることが苦手。特に、企業は保守的。
- ・それは、余りにも自然災害が多いので、未来を読むと暗くなるから。
- ・しかし、苦手を克服できるか、明るい未来を描けるか、これが最大のチャレンジ。

(3) KECAでは2017年5月の通常総会で「新しい環境活動の立上げとプロモーション活動の強化」を掲げて、新しい環境活動の立上げと共に、プロモーション活動をサポートする広報活動を重点活動として進めることをお約束しました。

安井理事長のお話しにある「自分を変える」、「明るい未来を描くようチャレンジする」を目指し、努力して参りますのでご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

1. 2018年に開催された「新しい環境活動」の実績と今後の予定

(1) 事業者向け環境教育セミナー（環境教育委員会：三島通世会員）

- ・2018年1月に環境教育インストラクターフォローアップセミナーの一環として、事業者様の社内で環境マネジメントシステム(EMS)を運営している従業員の方を対象としたセミナーを開催しました。今年度は独立した事業として事業者向け環境教育セミナーを開催する予定です。

- (2) 中小企業向け省エネセミナー（本部：高橋利夫副理事長）
 ・県内の中小企業向けに、省エネ法および省エネ補助金を中心とした3回のセミナーを計画し、1回目は5月24日に「省エネ補助金の申請方法」と題して実施しました。
 8月23日には「役に立つ省エネ法」で2回目を実施予定です。
- (3) エコアクション21内部監査員養成講習会（横浜支部：長安敏夫会員）
 ・横浜支部・内部監査チームを中心として7月4日、5日に某食品会社の内部監査員養成講習会を開催しました。今後の進め方を含め、本号に掲載されたイベント報告をご覧ください。

2. 新しい環境活動を増やす仕組みづくり

上記1. に述べた「新しい環境活動」は支部・委員会・会員個人それぞれの活動と提案から生まれました。本年度は2018年度計画で実施予定である支部・委員会活動に加えて、支部・委員会等による新しい環境活動及び会員個人の提案を増やす仕組みづくりを進めます。

- (1) 支部・委員会活動等の顕在化と参加の呼び掛け
 今までの支部活動・委員会活動・研究会活動・本部（事務局）活動について、具体的な事業・活動を会員の皆様へお知らせし、参加を呼び掛ける。
- (2) 新規事業検討会の継続による新しい環境活動を増やす仕組みづくり
 ・昨年12月度理事会で設置した健全財政検討会と新規事業検討会の継続を検討する。
 ・新しい環境活動を増やすため、支部・委員会等と会員からの提案を新規事業検討会へ提案願い、新規事業検討会（運営委員会メンバー）で検討後、理事会へ提案する。

3. 会員とお客を増やす新しいホームページの開設

- (1) 広報部会を中心として2018年12月開設を目標に進める。
 (2) 支部・委員会・本部に広報担当を設ける。

～目次～

P 1	巻頭言	パリ協定+SDGsを見据えた新しい環境活動の立上げとプロモーション活動の強化 ～会員の総力を結集する広報活動を目指して～	理事長 河野健三		
P 3	第22回（2018年度）通常総会報告と今後の対応		副理事長 千葉雅子		
P 4	ECU通常総会報告		副理事長 高橋利夫		
P 4	【イベント情報】中小企業向け省エネセミナー 役に立つ省エネ法		副理事長 高橋利夫		
	環境教育インストラクターフォローアップ（スキルアップ）研修会	環境教育委員会	齊藤明朗		
P 5	eco 検定受験対策セミナー	環境経営委員会	杉浦 勲		
P 5	【イベント報告】エコアクション21内部環境監査員講習会	横浜支部	長安敏夫		
P 6	さがみはら環境まつり出展報告	相模原支部	古屋伸夫		
P 7	【各委員会の2018年度計画と活動報告】環境教育委員会	岡本正義、環境管理委員会	森田 守		
	環境経営委員会	近藤勝養、化学物質委員会	石井員良、エネルギー研究会	加藤幸男	
P 10	【各支部の2018年度計画と活動報告】横浜支部	千葉雅子、川崎支部	高橋利夫、		
	横三支部	高橋弘二、湘南支部	西村堅一郎、県央支部	鈴木竹二、相模原支部	古屋伸夫、
	西湘支部	加藤忠男			
P 15	【会員投稿】食品ロス削減の取り組み―「SaLa」	木村信幸			
P 16	【会員紹介】眞砂副理事長の自己紹介	横浜支部	眞砂文夫		
	【追悼】西湘支部長	加藤忠男			

第22回（2018年度）通常総会報告と今後の対応

副理事長 千葉雅子

第22回通常総会は5月19日（土）、昨年に引き続き波止場会館で開催されました。出席会員数は26名と少なかったのですが、事業報告から定款変更までの議案はすべて承認され、無事終了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。審議内容については総会議事録に記載されているので省略しますが、会員からも多くの質問が出る等活発な意見交換が行われ充実した通常総会であったと考えております。

2018年度活動計画の概要は下記の通りです。

- ・2018年度活動の進め方として、引き続き各支部、各委員会・研究会の事業計画、活動計画により活動する。
- ・2015年度から進めてきた健全財政の維持と収益拡大を目指すプロモーション活動の強化については道半ばであり、事業収益拡大を目指し新しい環境活動を増やすと共にKECAの存続に必要な繰越金額設定の検討を進める。
- ・新規事業化を目指して中小企業向け省エネセミナー、個別事業者向けの内部監査員研修セミナー等を実施する。
- ・プロモーション活動の強化については広報部会を設置し検討を進める。
KECAの情報媒体として、KECAニュース、ホームページ、リーフレットがある。
情報媒体を一元管理し、魅力のあるKECAの活動をPRし会員増強へ繋げる。
- ・KECAは2019年11月に20周年を迎えるに当たり、記念行事の実施等について検討を進める。



受付中の高橋利夫副理事長(左)と千葉雅子副理事長



氏家啓一氏の講演



司会の眞砂副理事長

総会終了後、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの氏家啓一様から「SDGsと環境教育・環境経営」をテーマにご講演を頂きました。

- ・「気候変動」「生物圏の一体性」「土地利用変化」「生物地球科学循環」については、人間が安全に活動できる境界を超えるレベルに達している。
- ・企業は、持続可能な開発のための教育（ESD）を学んだ子ども（次世代）に評価される→持続可能な発展につながるというお話しは印象に残りました。
- ・その後行われた懇親会は、波止場会館1階のSaLaで約20名が参加し、参加者全員が近況報告を兼ねた自己紹介を行って交流懇親を図り、大いに盛り上がりました。

ECU（環境カウンセラー全国連合会）通常総会報告**副理事長 高橋利夫**

1. 日時：2018年6月22日（金）13：15～17：30
2. 場所：千代田区神田 エッサム神田ホール1号館2階多目的ホール
3. KECAからの出席者：河野健三・高橋利夫
4. 主な審議事項等は次の通りです。
 - (1) 環境カウンセラーのSDGsに関する専門性を強化するために、ECUとしてグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）への加入について検討する。
 - (2) 環境カウンセラー全国事務局受託の布石として47都道府県で正会員のいない県に賛助会員を増やし、全国ネットワークの早期確立を目指す。
 - (3) 環境人材育成のため、商標登録された「ESDサポートスペシャリスト」資格者の育成と認定を行う。等
5. 特記事項
 - ① 河野と高橋が理事に選任された。河野は再任、高橋は新任である。
 - ② ECUが環境カウンセラーの全国事務局となる「最後のチャンス」ということで、しっかり準備をすることとなった。
 - ③ 佐々木理事長の業務負担が増大したため、定款を変更して理事長職を廃し、代表理事を2名選任して役割を分担することになった。
 - ④ 河野理事長が関東地区のブロック長を務めることになった。関東地区のブロック長は3名いるため、今後担当地区を分担する。

【イベント情報】**1. 中小企業向け省エネセミナー「役に立つ省エネ法」**

- 日時：2018年8月23日（木）、13：00～15：00
- 会場：横浜フクシア多目的研修室
（横浜市西区高島二丁目7番1号 ファーストプレイス横浜3階（横浜西区福祉保健活動拠点内））
- セミナー内容：
 - ① 実は省エネの役に立つ省エネ法（“省エネ法の目的は、“省エネ”ではない？”）
 - ② 省エネ法で見つける省エネのネタ（“事業者の判断の基準”と“管理標準”）
 - ③ 省エネ法の弱点と今後の動向
- 講師：高橋利夫（KECA 副理事長）
- 資料代：1000円（KECA会員は無料）
- 参加申込・問い合わせ：090-8809-3601（高橋携帯）

37keca@kke.biglobe.ne.jp（KECA 事務所）

2. 環境教育インストラクターフォローアップ（スキルアップ）研修会

- 日時：2018年9月8日（土）、13：30～16：30
- 会場：横浜フクシア多目的研修室（上記に同じ）
- 研修内容及び講師：
 - ①地球温暖化の現状、未来予測と対策：平川 良信（神奈川県地球温暖化防止活動推進員）

②地球温暖化問題に関する出前講義時の留意事項やツールの紹介:岡本正義

(KECA環境教育会委員長)

□ 資料代:500円

□ 参加申込・問合せ:090-7948-7864 (齊藤携帯)

akirou_saito@jcom.home.ne.jp (Eメール)

3. eco 検定試験対策セミナー

□ 日時:2018年10月28日(土)、9:20~17:00

□ 会場:横浜フクシア多目的研修室(上記に同じ)

□ 講師:eco 検定登録認定の KECA 講師

□ 資料代:3000円(KECA 作成のテキスト代です)

□ 参加申込:FAX:045-226-5825、E-mail: 37keca@kke.biglobe.ne.jp、Tel: 045-226-5822

【イベント報告】

1. エコアクション21 内部環境監査員講習会

(1) 内部監査チームの誕生

エコアクション21(以下EA21)による環境経営を実施する事業者は、従業員が100人以上の場合 EA21 内部監査実施が認証登録の必要条件となっております。

全国的に EA21 内部監査実施のためのセミナーは非常に少ない中、神奈川県で実施しようとの目的のもと、2017年初に KECA 内で「内部監査チーム」を結成して活動を開始しました。

7月14日現在、EA21 認証登録事業者は全国で7995社あり、その内神川県の事業者数は343、更にその内の従業員100人以上の事業者数は27です(中央事務局ホームページ検索の結果)。

内部監査チームとしては内部監査を実施可能とするためのセミナー教材作成に取り掛かるとともに、100人未満の事業者に対しても内部環境監査実施の意義・効果を認識していただくための説明資料も作成しました。

(2) 講習会実施までの経緯と活動の成果

内部監査チームの活動開始後約10か月経過して一応の教材作成もできた2017年末に、プライムデリカ様より、コンサルティング実施中の KECA 会員を通じて内部監査員養成の出前講習実施依頼を受けました。チームとしては非常に良い機会をいただいたことに喜ぶと共に、満足いただける講習会実現のために全力を挙げて専念することとしました。

KECA横浜支部を中心に経験者等有志の協力も得て、教材の見直しや予行演習なども経て7月4日、5日に講習会を実施しました。

講習会は[講義Ⅰ]環境問題の重要性とエコアクション21ガイドラインの解説、内部監査の意義、[講義Ⅱ]内部監査実施手順と内部監査実施のための文章、様式例、[講義Ⅲ]チェックリストの作成と維持方法、[ロールプレイ]内部監査経験演習、のプログラム構成で実施しました。



(写真1) 講義受講中



(写真2) ロールプレイ実施中-1



(写真3) ロールプレイ実施中-2

プライムデリカ(株)EA21 管理責任者や事務局の強力な指導のもと、各工場より2名の受講者が参加され、22名の参加者が熱心に取り組まれました。講習終了時の最終試験は全体に好成績で、アンケートにおいても積極的な意見をいただきました。

内部監査チームとしては今後内部監査員の方々が内部監査を通じて同社の環境経営の有効性を高めていただくと共に、EA21活動のますますの活性化にも貢献していただけることを願っております。

(3) 今後の活動目標

今後は内部環境監査の有用性を広く認識していただくことを願ってホームページ、KECA ニュース、その他の機会を利用しての広報活動に努めていきます。企業からの内部監査に関する説明依頼や出前講習実施のご依頼があれば、誠意をもって対応していきます。

また地域事務局主催の内部監査セミナーなどへの協力依頼をいただくことがあれば喜んで対応させていただきますと考えております。(長安敏夫記)

2. さがみはら環境まつり出展報告

活動名：さがみはら環境まつり

場 所：ユニコムプラザさがみはら

実施日：2018年6月24日(火) 10:30-16:00

参加者：河野理事長、小網一裕さん、田中康夫さん、武内健三さん、石井修平さん、古屋

ブース訪問者：239名(スランブラリー応募用紙数)

【活動内容】

例年通り、相模原市の環境まつりが開催された。毎年、南区と中央区で開催場所を持ちまわるが今回は南区相模大野駅近くのユニコムプラザさがみはらで開催された。

例年はエコアクション21についてポスターや資料を絞って展示しているが、今回は集客を狙ってモニタディスプレイを持ち込み、環境省の地球温暖化ビデオや相模原市の希少植物をはじめ小田急の特急電車などを表示した。その結果、来訪者数は239名で前年(中央区・橋本駅)より7名増加した。

環境省のビデオで足を止めた人はいなかったが、電車や花はそれなりに足を止めて子供たちに声をかける場面もあった。

当団体のリーフレット配布数は13部。市議員やユニコムセンタにオフィスを構える個人事業者からは深い説明が要求された。その他、電機電子4団体作成の生物多様性保全活動の冊子を展示したが、これにはさがみはら温対協の対策部会から興味が寄せられた。

ブースの前を通る人に声をかけスタンプラリーのクイズ(環境保全活動の啓蒙)に答えてもらい、スタンプを押す間に当団体のPRをするというストーリーを実施してみたが、幾つか成功した場合もあった。



〔感想〕

環境まつりではエコアクション 21 の PR はできないと割り切って、環境カウンセラーから市民と事業者への働きかけが輪廻のように回って環境保全活動がスパイラルアップすると考えて、環境まつりでは市民への働きかけをするように出展に臨むのが良いのではなかろうか。(古屋伸夫記)

【各委員会の2018年度計画と活動報告】

本号から通常総会の後に発行するKECAニュースには、通常総会の報告と共にKECAで活動されている各委員会・各支部の皆様、その年の活動計画の進め方について提出して頂き、報告を含めて掲載しました。委員会及び支部がどのような活動をしようとしているのかを知って頂き、会員相互の情報交換により、会員の皆様が希望する活動へつなげて頂ければ幸いです。(河野記)

＝環境教育委員会＝ 岡本 正義

1. 2018年度活動計画の進め方

「環境教育等に関するセミナー」「幼小中高校の出前授業・講座」及び「支部・環境団体との連携による環境教育活動」を3本柱として、メンバー自らの強さを発揮する活動として、充実感を高めるよう進める。

「環境教育等に関するセミナー」としては、環境教育インストラクター応募資格取得セミナーとインストラクターフォローアップセミナー並びに事業者向けの環境教育セミナーを実施する。

「幼小中高校の出前授業・講座」としては、神奈川県、横浜市、横須賀市と連携して、出前授業・講座・教室を受託して実施する。

「支部・環境団体との連携による環境教育活動」としては、他支部との連携による環境カウンセラー養成講座および他の環境団体との協働による市民環境活動報告会を実施する。

2. 活動報告

(1) 県の環境・エネルギー学校派遣事業として1校から出前授業の依頼を受けた。学校と授業テーマは、鎌倉市の小学校から「木に触って、森・木の働きを知ろう」で、7月3日、4日に実施した。



授業スナップ写真例：水源林モデル実験 木の太さを測り、CO₂ 吸収量を算出す

(2) 第24回市民環境活動報告会に実行委員として活動

3月3日(土)にかながわ県民センターで“生物多様性の生態系を守ろう”をテーマに掲題の報告会が80名の市民を集めて開催された。環境学習リーダー会及び地球環境保全推進会議と共に実行委員を務め、企画から運営まで推進した。KECA関係では「昔話に出てくる、日本人の原点の里山作り」(田中真次氏)を報告した。

＝環境管理委員会＝ 森田 守**1. 2018年度活動計画の進め方**

環境管理委員会はEA21の審査員を主体とした活動を行っているが、EA21は2018年度から大きな変更が行われた。一つは、EA21ガイドラインが2009年版から2017年版に改訂施行され、環境経営の視点をより重視した環境マネジメントシステムとなった。要求事項は、代表者による経営における課題とチャンスの整理と明確化以外は大きな変更はないが、2009年版では解説で記載されていた事項を要求事項として明確にしたことがある。

二つ目は、審査人の名称を審査員とするとともに、従来は審査時のみ助言・指導が行えたが、2018年度より次の審査員が決まるまでは、審査を行った審査員が責任を持って審査先事業者に対して助言・指導を行う責任が生じたことである。

このような背景からEA21審査員としては、環境経営思考により審査員の力量向上を図っていく必要がある。環境管理委員会活動としては、今後は委員会を力量向上の場として、審査員の不明点・疑問点を相互に解決していくことが委員会の存在価値となると考え、委員会の時間をできる限り研修の場として活用していきたい。また、地域事務局と連携して、EA21登録事業者を増やしていく活動にも継続して注力していく。

2. 活動報告

EA21システム構築のための文書類作成CDの改訂を行った。

EA21ガイドライン2017年版の発行に伴い、2009年版で作成していた文書・記録類の様式の見直しを行い、2017年版に準拠した様式に改訂した。作成した様式のチェックも兼ねた力量向上研修会を開催し、委員会メンバーでより良い様式とすることを行っている。

事業者への改訂版の提供方法は、今後の委員会での検討課題である。

＝環境経営委員会＝ 近藤 勝養

環境経営委員会の活動目標は、委員会のメンバーの経験・力量を活かし、経営意識の高い企業を支援し、神奈川県を少しでも住みやすくする。という事で活動を進めています。

今年は、EA21地域事務局が中小企業者を集めて力量向上をする際に活用出来る経験談・力量等をまとめておくことと、環境活動の「エコ検定」に合格できるように研修会を開催することです。

- (1) まず取り組んだのが、目標をまとめるマンダラチャート手法です。メジャーリーグの選手になり話題になっている大谷選手が、高校生を卒業する時の目標を決めたのがマンダラチャートです。委員会メンバーそれぞれがマンダラチャートを作成して、良さを体験します。この体験談がEA21で、単に目標設定するのではなく、自社で進むべき方向に着実に行動していることを経営者や従業員が感じてもらえるように支援をします。

毎回の定例会では、他のテーマの検討を進めて、事業者の支援に役立てます。

- (2) 「エコ検定」に合格できるように研修会を10月27日（土）に開催します。

地球規模で考え、足元から行動せよ！をスローガンにあげ、環境関連の知識の習得と問題解決に向けた考え方ができるように支援します。

＝化学物質委員会＝ 石井 員良

化学物質に関する周知活動の手段として、2015年度から継続している化学物質に関するセミナーの開催を考えています。

- (1) KECAのホームページによる情報発信

- ①化学物質を理解する上で必要な基本的事項を分かり易く解説をします。
- ②新聞、インターネットなどで話題になっている化学物質に関する事柄を分かり易く解説します。環境カウンセラーとしては、市民の方に自分で調べられる情報源（官公庁、財団法人、官公立の研究機関など）を紹介し、化学物質に関する話題を正確に理解してもらえるように手助けをする立ち位置（材料提供）で、結論を押し付けないようにします。
- ③事業者向けとしては、今まで開催したセミナーで使用した資料を編集して分かり易く解説します。

（２）化学物質に関するセミナー

今まで開催したセミナーの主要テーマである①化学物質のリスクアセスメント、②化学物質の SDS、ラベル、③化学物質の保管、④化学物質のリスク評価を今後も継続して採り上げ、セミナーを開催する予定です。

◇「職場における化学物質管理」セミナー開催報告

3月3日（土）に「職場における化学物質管理」セミナーを開催しました。

化学物質を取り扱う職場では、人に対する有害性ばかりではなく、化学物質の危険性についても注意を払わなくてはなりません。取り扱う化学物質の種類や保管している化学物質の量が少ないと言って化学物質の管理が疎かになっていないでしょうか。

そこで、①化学物質の危険性に関する法律及び保管時の注意事項などで管理を見直す、②化学物質のリスクアセスメントの実施により、SDS ラベルの読み方を周知する必要性が高くなっていますので、その方法について、③化学物質のリスクアセスメントで分かり難い有害性の評価方法についてよりよく知ってもらうために、という内容で、職場における化学物質管理を見直す切っ掛けとなるように、2017年度も終わり頃の開催ではありましたが、13名（うち、KECA 会員 8名）の方に参加いただきました。セミナーは、講演のみで、講師は、いずれも化学物質委員会の会員が担当し、チームワーク良くセミナーを進行することができました。



参加者のアンケート調査では、セミナー全体の評価として、「非常に役立った」、「具体事例の紹介があって理解しやすい」など、好意的な評価が多く、いずれの講演も参加者のほぼすべての方が、満足（大変参考になった、少し参考になった）されていることが分かりました。

ただ、セミナーの開催が半日であったため、「リスクアセスメントの演習時間を設けたら良かった」とのご意見もありました。

今回のセミナー開催の体験を今後の化学物質委員会の活動に役立てたいと考えています。

ご期待ください。改めて、セミナー開催にあたっての化学物質委員会及び KECA 会員の皆様のご協力に感謝いたします。

なお、セミナーの資料をご希望の会員の方は、KECA 事務局までご連絡願います。

＝エネルギー研究会＝ 加藤 幸男

「持続可能な開発目標」（SDGs）を通じて、豊かで活力ある未来を創るために！

エネルギー研究会は、前年度までの計画の検討をベースに今年度（2018年度）の活動を再検討し、推進します。

- （１）－１「運用改善」と「設備更新」からなる冊子Ⅰを作成する。

ついで、－2長期的スパンを含む場合、冊子Ⅱによる。

「運用改善」：投資回収年数 5年以下の提案⇒Update ⇒改善提案

「改修新改善」：投資回収年数5年以上の提案⇒Renewal ⇒改修提案

まず、運用改善、並行して更新改善、改修改善のマニュアルを作成しておく。Update、renewal等の用語については、英和辞典を鵜呑みにせず、「誤訳の泉」等で比較検討する。

(2) シラバス「1」省エネ診断技術実習（省エネ診断報告書等）、「2」省エネマネジメント実習構築（EnMs構築）、「3」省エネルギー計画管理実習（省エネルギー報告書等）、「4」省エネ対策技術実習（省エネ、創エネ、畜エネ）

「2」については、人材育成を図る手段として、エネ研主体のワークショップを企画実施する。

「4」については、エネ研主催で1回実施済み。

(3) IPCCコミュニケータは、平成29年度からは、「地球温暖化コミュニケータ」として、再出発した。KECAエネ研もこれに対応していく。

(4) 研究会は、原則、集まって実施するものだが、Skypeも、多いに活用し、実施する。岩村順雄さんのSkype研究を生かしたい。/ エネ研主催、又は、共催のワークショップを実施したい。過去に3回程、実施の実績有り。

(5) NEDO（新エネルギー・産業開発機構）及びERCA（独立行政法人環境再生機構）の年間の取組み情報に沿って活動する。2018年度は、完了に付き2019年度からの取組み。

【各支部の2018年度計画と活動報告】

＝横浜支部＝ 千葉 雅子

◇2018年度活動計画と活動報告

横浜支部は、環境経営支援事業（EA21普及活動、内部環境監査教育等）、環境教育（出前授業等）、その他市民との協同活動、会員等による自己啓発（見学、講演会）を主体に活動を進めています。定例会は、原則として月に1回開催し、毎回30分講話を実施しています。5月は、「バイオ燃料（楡ユーグレナ）」のテーマで、ミドリムシ、ユーグレナ、事業について萬さんから説明がありました。7月には、真砂さんから、JIMDOホームページ作成ソフトを使用したKECAの新しいWebページと、事例として、種子島39号機打ち上げの紹介もありました。

次回の定例支部会は、2018年9月21日(金)18:00～フクシアにて開催され、「食品ロス～もったいない」DVD視聴予定です。

(1) 環境経営支援事業（EA21普及活動等）

①横須賀三浦地区工業会でEA21導入セミナーを3月27(火)日に実施しました。

②横浜市温暖化対策統括本部本部長へ、EA21普及、自治体イニシアチブへの理解と支援を得る目的で説明に伺いました。

③内部監査研修については、7月4日(水)、7月5日(木)に実施しました。

(2) 自然観察グループ

・9月8日(土)に、逗子市池子の森自然公園の理科ハウス見学を計画しています。

＝川崎支部＝ 高橋 利夫

1. 2018年度支部活動計画の進め方

支部員個々の力量を活かして、KECAの委員会を中心に活動します。

例えば、支部長の高橋は2018年1月より「第9期 環境パートナーシップかわさき」に環境カウンセラーとして参加し、「低炭素社会に向けた環境と経済活動グループ」のグループリーダーを務めています。

支部会合を2ヶ月に一度の頻度で開催し、支部メンバー間の情報交換・活動提案を行います。

2. 2018年度の支部会合

6月9日（土）15時から17時まで、かわさき市民活動センター（武蔵小杉）のフリースペースに支部メンバー5名が集まり、情報交換と活動の提案を行いました。

次回は、8月25日（土）に開催する予定です。

＝横須賀三浦支部＝ 高橋 弘二

1. 2018年度活動計画

(1) 横須賀市環境教育指導者派遣事業（よこすか環境教室）

市立保育所、小中学校からの依頼を受け、出前授業（室内、野外体験学習）を実施する。

（予定：2、3保育所、3～5小中学校）

(2) 横須賀市地球温暖化対策地域協議会環境教育プロジェクト

同協議会に団体登録し、小学生を対象とする「ソーラーランタンづくり（年2回：夏、春休み）」、親子エコツアー（夏休み：8月9日）を実施する。

(3) すかつ子セミナー2018 実行委員会、自然系A&Dコース

実行委員会の主要メンバーとして企画、運営に当たるとともに、自然系Aコース「川がき探検隊」（第1土曜日）、自然系Dコース「海っ子・山っ子」（第3土曜日）を担当する（5～12月）。

(4) 環境カウンセラー養成支援講座

湘南国際村で活動する「三浦半島ふれあい楽校」のサマースクールにおいて、三浦半島で環境活動している人を対象に、環境カウンセラー養成支援講座（主として市民部門）を開催する。

（7月15日（日）、湘南国際村センター）

(5) 定例会

年4回（6、9、12、3月）第4水曜日（原則）開催、会員が少ないことから会員外環境カウンセラーも参加し、情報交換・懇親を深める。

2. 2018年度活動報告

(1) よこすか環境教室

① 5月31日（木）午前、市立沢山小学校5年生（15人）

長浜海岸で「海の生き物観察」を実施

② 6月14日（木）午前、市立望洋小学校3年生2クラス（各28日）

「学校ビオトープについて」教室での話と、野外での観察、スケッチ

(2) すかつ子セミナー2018

① 5月12日（土）午前、まなびかん大学習室にてオリエンテーション

午後から自然系A&Dコースは、浦賀道を散策し、諏訪公園で遊ぶ。

② 6月2日（土）、自然系Aコース、「高熊川から塚山公園、西逸見ホテルの里へ」

すかつ子 11 名、サポーター 7 名が参加、高熊川上流で水生生物調査、塚山公園で遊ぶ。



小雨の岩礁で海の生き物観察



高熊川の源流探検

=湘南支部= 西村 堅一郎

1. 2018年度活動計画

湘南支部は出前授業と環境フェアを主体に活動を進めます。

- (1) 出前授業：県の出前授業に応募しましたが、残念ながら春には申込みがありません。
秋にも追加募集するので、期待をしています。

- (2) 環境フェア：企画運営委員として積極的に参加しています。

①ちがさき環境フェア 10月20日(土) 於 茅ヶ崎市市役所

②ふじさわ環境フェア 11月24日(土) 於 藤沢市市民会館

・両会場とも地球温暖化防止クイズとペットボトルを使ったワークショップを開催します。

2. 活動報告

2017年度は出前授業1件 ちがさき、ふじさわでの環境フェアに参加しました。



出前授業



環境フェア

=県央支部= 鈴木 竹二

支部の目標	行政(商工会)とタイアップして、地元市民への環境保全及び EA21 普及啓発活動に務めるとともに会員相互の情報交換や、モデル工場・施設の勉強会並びに各支部との交流、各委員会に参加してより活発化を図る。
-------	--

目標を達成するための方策、活動の進め方等について	<p>(1) 環境経営支援事業</p> <p>①EA2 1 普及活動</p> <p>②モデル工場施設勉強会(地域事業者含む)</p> <p>(2) 環境教育事業</p> <p>①海老名市内の小学校のえびなっ子スクールの実施</p> <p>(3) 地域事業者に対する支援事業地域事業者に対する支援事業</p> <p>①行政、商工会、団体等と情報交換・交流</p> <p>②環境科学・技術の研究、企業への支援・交流</p> <p>(4) 自然環境保全事業自然環境保全事業</p> <p>①自然観察会</p>
--------------------------	---

＝相模原支部＝ 古屋 伸夫

1. 活動の進め方

相模原支部は会員数 6 名で構成されており、市内の中小事業者様へのエコアクション 21 の普及と市民への環境意識・活動の啓発を行っています。

2018 年度は 3 ヶ月に一回程度の例会を開催して支部会員同士のコミュニケーションを図ると共に、「さがみはら地球温暖化対策協議会」の調査部門および対策部会の活動に参加して主に市民に環境意識・活動の啓発を行います。更に「さがみはらの環境を良くする会」の活動に参加して事業者様と一体となって地域の環境保全に取り組みます。また、恒例となりましたが、「さがみはら環境まつり」ではブースを開設して当協議会の活動の PR を行います。

2. 2018 年度の活動実績

- ・ 4 月 4 日：自然観察会 場所：町田かたかごの森、参加人数：5 名
- ・ 4 月 4 日：支部例会 場所：町田土風炉、参加人数：5 名
- ・ 4 月 27 日：環境を良くする会総会 参加人数：1 名
- ・ 5 月 7 日：温対協対策部会 参加人数：1 名
- ・ 5 月 14 日：温対協総会 参加人数：2 名
- ・ 6 月 12 日：相模原市の 2050 年の将来像を考えるワークショップ 参加人数：2 名
- ・ 6 月 24 日：さがみはら環境まつり 場所：ユニコムプラザさがみはら、参加人数：5 名
- ・ 6 月 24 日：支部例会 場所：ユニコムプラザさがみはら、参加人数：5 名
- ・ (6 月 27 日：中小事業中央会主催 Eco-CRIP 説明会 場所：さがみはら環境情報センタ、説明員として参加：2 名)

(1) 相模原支部自然観察会

活動名：自然観察会 2018

場 所：町田かたかごの森

実施日：2018 年 4 月 4 日 (水) 10:00-12:30

参加者：品川高儀 (県央支部)、小網一裕、田中康夫、武内健三、古屋伸夫

報告者：古屋伸夫

【活動内容】

カタクリは、早春に咲きすぐに消えてしまう春植物 (Spring ephemeral) と呼ばれています。相模原市や町田市にはカタクリ群生地が多数ありますが、今回は、町田市の「町田かたかごの森」を

訪問しました。この公園は、カタクリの開花時期に合わせて毎年4月上旬に10日間程、期間を限定して開園されます。

今年の春植物は開花が早く、アズマイチゲやアマナなどカタクリの前に咲く花はすでに消えてまい、カタクリも最盛期を過ぎていましたが、まだまだ咲いたばかりの個体もあり、十分に楽しめました。その他、イチリンソウ、ニリンソウ、ヒトリシズカ、ワダソウ、シュンラン、イカリソウなどの希少植物を観察することができました。

今回は森林インストラクターの品川さんに参加いただき、カタクリが実生から10年目にして初めて花が咲くことや、一枚葉のカタクリ若年草を実際に見せていただいたり、カタクリにまつわる楽しいお話などうかがえ、有意義な自然観察会となりました。

最後に反省会と例会をかねて昼食会を行い、さまざまな情報や意見交換を行いました。



(2) 相模原市の将来像を考えるワークショップ参加報告

活動名：相模原市の将来像を考えるワークショップ

場 所：相模原市環境情報センター

実施日：2018年6月12日（火） 13:15-16:30

参加者：東京都市大学 馬場健司教授、相模原市環境政策課、温対協参加団体、KECAからは小網氏、古屋が参加、合計27名

報告者作成：古屋伸夫

【活動内容】

相模原市が次期「地球温暖化実行計画」に向けて2050年頃の将来シナリオ作りを進めている。今回のワークショップでは、シナリオに対するインプットを広く求めるために、以下の項目について温対協有志メンバーにてブレインストーミングを行った。

- ①現在の身の回りの深刻な気候変動影響実感と社会動向
- ②2050年の「なりゆき未来」(注：何も対策を取らなかった場合の未来)の具体的イメージ
- ③2050年の「脱炭素未来社会」(注：積極的に温暖化対策を取った場合の未来)の具体的イメージ
- ④相模原市が持つ弱みと強み、目指すべき将来像

ブレインストーミングは温対協有志2グループと相模原市役所若手の3グループに分かれて行われた。古屋の入ったグループでは、①に対して、異常気象と高齢層と若年層の価値観の違い、②に対して、日本がドバイになる、③に対して、エネルギーの極端な規制と自分を律する力が必要、

④に対して、相模原市の自然と首都圏との近さを生かす、等があげられた。今後、夏ごろに地球温暖化対策推進委員への個別ヒアリング、秋ごろに専門家による検証を経て、冬ごろには温暖化対策を取った場合と取らなかった場合の将来像をシナリオ形式で作成すること。

【感想】

2050年を傍観者の立場で見えていたが、脱炭素社会とするために自ら取る行動をバックキャスト的に考えてみると途方もない変革（脱炭素住宅に転居する、再エネ中心の高価格な電気料金に耐える等）を行わなくてはならず、とても高齢者には財政的に耐えられないと感じた。

＝西湘支部＝ 加藤 忠男

- (1) 西湘支部は神奈川県西部相模川より西地区【平塚市、小田原市、南足柄市、秦野市、中郡（大磯町・二宮町）、足柄上郡、足柄下郡】のメンバーで構成されています。
- (2) 人員は現在7名（退会者が有り人員が減少しました）で主たる活動は、環境情報の交換、学校等での環境情報講演、地域の環境イベント情報紹介、自然観察会の計画実施、自然保護活動への参加、等を行っています。
- (3) 活動は、ひらつか市民活動センタ（平塚駅南口JAビル2階）での定期的支部会を主体に推進しています。支部会は3～4か月毎に開催しています。
- (4) KECAの拠点である、横浜からは最も遠い地区で有り、本部での会議等への出席もままならない為、会員間での信頼関係醸成を進め、会員相互での情報交換に努めています。

【会員投稿】

食品ロス削減の取り組み―「SaLa」

木村信幸

今年度の通常総会に伴う懇親会も、お馴染みのシーサイドラウンジ「SaLa」で行われました。会場に入って直ぐ目に飛び込んだのは、いつもならいくつもの大皿、中皿に盛られた料理が、一人用のプレートに載せられていたことです。

反応は様々でしたが、このオーナーも中々やるなーと言うのが私の第一印象でした。しかしながら、料理については何の説明もありませんでした。

「これは前菜で、温かいものはこれが終わった人から出します」の一言があれば皆さんも納得したことでしょう。

それがこの店の戦術だったかもしれません。このことは後日、馬車道の「SaLa2」に女性オーナーを訪ね、インタビューして判明しました。従来方式では、かなりの食べ残しが出ていましたが、プレート方式ではそれが殆ど無いとのことでした。

数値は不明ですが、現在食品廃棄物は非常に少ないそうです。

年間2,842万トンの食品廃棄物の内、いわゆる食品ロスは646万トンとされています。ざっくり言えば、1人1日茶碗1杯分（約136g）の食べ物が捨てられている勘定になります。無駄を少しでも減らそうと頑張っているこの店の女性オーナーは、馬車道のビルにあるLED菜園で生産した無農薬野菜「横浜・馬車道ハイカラ野菜」を使用していることも判明しました。丁度頃合いでもあり、ランチをオーダーしてハイカラ野菜も食してきました。味が濃い野菜といった印象です。帰りに馬車道LED菜園も見学させていただきましたが、この企業は2017年度神奈川工業技術開発大賞ビジネス賞を受賞し、横浜型地域貢献企業にも認定された優れた企業でした。思いがけない寄り道ができたのもう一つの収穫でした。



【会員紹介】＜眞砂副理事長の自己紹介＞

横浜支部の眞砂文夫です。KECAには2012年に入会しました。2013年に環境カウンセラー(事業部門)を取得・登録、2017年に環境教育インストラクターの資格を取得しました。1965年にOAメーカーの(株)リコーに入社して、OA機器の営業を担当した後、現、リコージャパン(株)の前身の企業「群馬リコー(株)・NBSリコー(株)・リコーテクノシステム(株)」で取締役社長・取締役東京支社長を経験し、NBSリコーでは、OA用紙、トナー、カートリッジ等の製造、古紙再生、リサイクルへの取組み。リコーテクノシステムでは、都内のOA機器の保守サービスにおける環境対応を現場で実践して参りました。2006年定年退職後は、リコーコールセンターに於いて、コールセンターの環境研修を3年間担当してきました。現在リコーは離れたものの、リコーのお客様の元で経営管理部の部門長を現役で続行中でKECAでの活動はほとんど出来ていませんでしたが、昨年、会員増強を担当する理事、今年は、副理事長と事務局長をさせていただく事になりました。



後列の左端が眞砂です

また、定年を機会に「神奈川県地球温暖化防止活動推進員」として省エネ活動へも参加する一方、地元・港北区の皆さんとの市民活動として自然と食にかかわる活動を「畑っこ新羽の会」「男の料理菊名の会」で実践し、昨年からは会長を任せられています。昨年には港北区役所区民活動支援センターが主催する「街の先生」にも登録し、OA機器メーカーの製造・販売・保守の現場で経験した環境の取組みを市民活動を通じて役立てたいと実践しております、現在は、「畑っこ・新羽」「男の料理・菊名」「KECA」およびKECA横浜支部会、理事会、

運営委員会の会合を通じて諸先輩の皆さまのお話を伺いながら、環境カウンセラーとしての活動を少しずつ取組み始めております。

【追悼】

6月4日に逝去された厚見安宏様は、かながわ環境カウンセラー協議会西湘支部の主要メンバーとして、自然観察会の計画・東海大学での環境講義等様々な行事に貢献して頂きました。お身体の具合も心配をしておりましたが、可能な範囲で支部会にも参加いただき、直近までご指導を頂いておりました。余りに急なご逝去の為、支部員一同訃報に接し驚きが隠せない状況です。

支部員一同心よりご冥福をお祈りいたします。

西湘支部 支部長 加藤 忠男

【編集後記】

本63号の構成は、巻頭言、イベント情報、イベント報告、2018年度の本部、委員会、支部の活動計画、実施状況を中心に、会員紹介、追悼文を掲載しました。また、環境に配慮した取り組みの紹介も掲載しました。

今後も、各支部、各委員会の投稿を増やし、内容を充実して参りますのでご協力を宜しく願います。(千葉)

〔発行〕特定非営利活動法人

かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

理事長：河野健三 / 編集人：千葉雅子

◇住所：〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1
横浜ワールドポーターズ6階 NPO スクエア内

◇電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825

◇E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp

◇URL：http://www.37keca.org/